

# 社会資本総合整備計画

亀岡駅北周辺地区(2期)都市再生整備計画  
(第一回変更)

平成31年 3月

京都府 亀岡市

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年03月29日

計画の名称	亀岡駅北周辺地区（2期）都市再生整備計画												
計画の期間	平成30年度～平成33年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	亀岡市												
計画の目標	『水と緑が調和する賑わいともてなしの新たな亀岡の顔づくり』 亀岡の魅力を実感できる「行ってみたい」まちづくり 自然・景観の素晴らしさと駅前の利便性の高さをいかした「住みたい」まちづくり 賑わいやもてなしを支える「ふれあい・助け合い」のあるまちづくり『水と緑が調和する賑わいともてなしの新たな亀岡の顔づくり』												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	537	A	537	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H33末)
1	JR亀岡駅利用者が近年減少傾向にある中で、社会資本整備総合交付金を活用した定住化の促進や都市基盤の整備によるにぎわいづくり、アクセス向上により、駅利用者の増加傾向への転換を目指す。 JR亀岡駅の一般・定期を合わせた年間乗降客数	6500千人/年	6510千人/年	6600千人/年
2	都市基盤の整備はもとより自然との共生、駅前の賑わいを活かしたまちづくりの推進による、快適な居住環境の整備により定住化を促進し、居住人口の適正な確保を目指す。 本計画区域内の居住人口	0人	25人	250人
3	現状での基盤整備等に関する活動に加え、総合的なまちづくりの実施により、景観形成や観光振興・もてなし・居住者等のコミュニティ活動等の創出・充実を目指す。 本地区を含む区域でのまちづくり活動等を実施している団体数	0団体	1団体	2団体
4	駅前にぎわい広場を整備することにより新たな賑わいの創出を図り、交流人口の増加を目指す。 駅前にぎわい広場の年間利用者数	0人	0人	2500人
5	公園を整備することにより新たな憩いとふれあいの場の創出を図り、交流人口の増加を目指す。 公園の利用者数	0人	0人	1200人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	H32	H33	H34				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	亀岡市	直接	亀岡市	-	-	亀岡駅北周辺地区(2期) 都市再生整備計画事業	公園、地域生活基盤施設、高 質空間形成施設	亀岡市						537		-	
												小計						537		
											合計						537			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

